



1998 年ハーバード大の D. Eisenberg が米国で代替医療を調査。米国民の 40 %が年間 6 億回の代替医療を受け 270 億ドル使用（通常医療とほぼ同額）、96 %は通常医療併用。2000 年初頭には整体療法を 42 州、鍼灸を 7 州で医療保険がカバーし、3 州でホメオパシーの法定資格が定められていた。【**薬草（ハーブ）療法**】は 3 人に 1 人、費用は 40 億ドルであり NIH は代替医療研究のため NCCAM（**National Center for Complementary & Alternative Medicine**）を発足させた*¹。FDA は薬草マオウにはエフェドリンやハーバル・エクスタシー（法定禁止薬）が含まれ、800 以上の有害事象があると報告。主な薬草のエビデンスについて、証拠があり中程度の効果があるものは①鬱病に対する**セントジョンズ・ワート**（西洋オトギリソウ）②認知症に対する**銀杏（ドネペジルに匹敵）**のみと報告(CMDT, 2003)。【**ホメオパシー**】1790 年 C.F.S.Hahnemann が体系化、“類似の法則”、“希釈仕様”（希釈と振盪を行い分子がほとんど無い濃度にまで希釈する）、“潜在能力活性化”の 3 大原理に基づく*²。180 件以上の比較研究(RCT)でほぼプラセボより優れた効果を発揮（ほとんどが**英語以外の論文**）とされたが英国ではプラセボと**差が無かった**。【**レフレクソロジー**】内臓反射療法、足底の特定部位を圧迫刺激して疼痛緩和などを得る。英国では議会の承認後、看護師がこれを行っている。日本ではメイド服の女子高生による JK リフレも。【**オステオパシー、カイロプラクティック**】整体療法、アメリカではオステオパスは Doctor of Osteopathy (DO) と呼ばれる職業学位称号を有し、**西洋医学医師 (M.D.)**と同様に正規の医師であり、全ての「**医行為**」が認められている←この項ウィキより引用、未確認。日本では・整体・カイロプラクティック同様、**無資格の無届医業類似行為**。日本には**あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師**の国家資格がある。【**プラセンタ**】日本では肝庇護薬として保険適用*³、日赤はプラセンタ注射歴のある人は、**狂牛病回避のため献血不可**とした。【**河野メソッド***⁴】認知症治療法のための経験的プロトコル集（毎年変更）。（患者より）介護者を優先する介護者保護主義。糖のサプリメント（フェルラ酸）や保険外の意識障害治療薬ニコリンなど使用。【**漢方薬**】日本、韓国、中国では正規の病院でも漢方薬が処方される。米国でも 10 州以上で保険適用あり。【**大麻**】マリファナ。テトラヒドロカンビノールは日本では大麻取締法違反。【**MMR（流行性耳下腺炎、麻疹、風疹）ワクチンで自閉症**】というランセット論文は全くの捏造。コクラン共同計画もこれを否定。論文撤回は 12 年後、著者は医師免許剥奪（詐欺罪）。【**アルツハイマー・アルミニウム説**】FDA は否定。アミロイド説もワクチンで沈着を抑えたが無効、今はタウオパチー（リン酸化 τ 蛋白の神経細胞内蓄積）説が有力。但し**アルミと痴呆は関係あり***⁵。糖質、グルテン制限、ゲルマニウム、プロポリス、フコダイン、 β グルカン、CoQ10 etc. 【**原則**】Katzung の「薬理学書 9 版」には**学生が忘れてはならない原則として①全ての物質は有毒になりうる ②全ての治療法は有効性、安全性につき医薬品と同じ基準のエビデンスを持たねばならない**。を挙げている。

*¹年間一億ドル以上の予算を使い臨床試験をおこなったが、ほとんど良い結果を得ることがなく、厳しい批判を受け改組。*²1988 年 Nature 掲載の J. ベンベニスト（イグ・ノーベル賞）「水の記憶（極度に希釈された抗血清中の・・・）」が根拠？後に撤回。2016 年 11 月 FDA はホメオパシー薬品（Hylands 社）の使用中止と廃棄を勧告（死亡例はベラドンナによる？）。*³ラエンネック、メルスモンの 2 種。過去にメルスモン製薬は薬事法違反で行政処分 *⁴ 河野和彦医師、フェルガードの競合品に対する信用棄損で医業停止 3 か月（2016.9.30 毎日新聞）*⁵グアム島での調査。